

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会  
第3回 議事録(要旨)

開催日：平成27年2月23日(月)

## 参加者一覧

出席者	安藤 辰夫 大塚 之稔 西條 好迪	(一財) 自然学総合研究所技術顧問 日本野鳥の会岐阜代表 (一財) 自然学総合研究所所長
事務局	八代 貴守 西岡 幸宏 長瀬 主税 阿部 晋也 他2名	恵那土木事務所道路建設課濃飛横断自動車道建設係長 岐阜県都市政策課技術課長補佐 岐阜県道路建設課技術課長補佐 岐阜県道路建設課企画係技術主査 大日本コンサルタント株式会社

## 濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会 議事録(要旨)

議題	発言者	番号	意見の主旨	当日の回答
<b>1. 第2回検討会意見の取りまとめについて</b>				
	検討会委員	1	オオタカの営巣環境という観点から植生調査を行う際は、各層の植物群の被覆度合いを把握することに注力すれば良いと考える。	今後予定している植生調査で、植物群の被覆度合いの把握に注力する。
<b>2. オオタカに関する今繁殖期調査について</b>				
	検討会委員	2	オオタカの営巣環境の観点から行う植生調査の時期は、育雛期間の林相の状態に極力類似する秋季の早い時期(9月)に実施するのが良い。	植生調査の調査時期を調整し、9月上旬～中旬に実施することとする。
	検討会委員	3	2月に実施したオオタカ調査により、計画路線周辺にオオタカが生息していることが確認されたが、H27繁殖シーズンにおける繁殖の可能性や営巣位置などについては、3月調査の結果も踏まえ、検討する必要がある。計画路線周辺におけるオオタカの生息状況を明らかにするため、3月調査では個体識別ができることを期待する。	3月調査では、H27繁殖シーズンにおける繁殖の可能性や営巣位置の推定と併せて、個体識別にも努める。
	検討会委員	4	オオタカに関する調査スケジュールは了解した。今後の調査の進め方については、平成27年度早期に予定する委員現地調査に加え、6月頃に予定する繁殖状況調査の結果も踏まえて検討する必要がある。工事着手時期が明確でない現段階においては、現地調査を平成27年度末で一区切りとし、調査・保全対策の方向性などある程度の結論を出す必要があるのではないかと。	ご指摘を内容を踏まえ、今後の調査の進め方を検討する。
<b>3. その他鳥類に関する調査について</b>				
	検討会委員一同	5	2月の鳥類相調査で確認されたハイタカ・オシドリは越冬個体であると推察され、当該地での繁殖は行わないものと思われる。トラツグミについては引き続き調査を継続し、当該地での繁殖状況の確認を行うと良い。	今後実施する鳥類相調査において、引き続きトラツグミの繁殖状況の確認を行う。
<b>4. 今後の予定について</b>				
	事務局	6	現地調査の実施時期は、4月下旬で調整させていただく。後日各委員に案内する。	-

# 濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会

## 第3回検討会 総括

- 2月度のオオタカ調査によりその存在は確認されたが、今繁殖期の営巣位置など、詳細は3月期調査を待つ必要がある。生息数や行動圏を明らかにするため、3月期調査では個体の特定ができることを期待する。
  
- 2月度の一般鳥類調査で確認されたハイタカ・オシドリは越冬個体であると推察され、当該地での繁殖は行わないものと思われる。トラツグミは今後調査を継続する必要がある。
  
- オオタカに関する調査スケジュールは了解。新年度早期に実施する委員現地確認に加え、6月頃に予定している繁殖状況調査結果を踏まえ、今後の進め方を検討する必要がある。工事着手時期が明確でない現段階においては、平成27年度末で一区切りとし、方向性などある程度の結論を出す必要があるのではないかと。

以上